

やたわか通信



2017年10月 1日

ホームページ：<http://yatawaka.com/>

発行：矢田わか子事務所

多くの“ご意見・ご要望”や“学び・気づき”をいただきました



国会の開会中・閉会中に
関わらず、
ぜひ国会事務所に
お立ち寄りください！

国会事務所に
お越しいただいた
皆さん



訪問させて
いただいた組織



やたわか往来

2017年9月



要請いただいた
団体の方々

健康保険組合連合会大阪連合会から、国民皆保険制度を支えている健保組合の危機的状況を受けた『全国民が公平負担する仕組みの導入』について要請を受けました。

見学させて
いただいた施設



富士通株式会社 net Community を見学させていただき、技術革新の取り組みを日本に次なる経済成長の柱の一つにしなければならぬと感じました。

矢田わか子の議員活動の原点は、“働く者・暮らす人の声”です。これからもぜひ皆さんのご意見・ご要望をお聴かせください。

※誌面の関係で、全ての組織をご紹介できません。ご了承ください。

教えて! やたわかさん!! 衆議院が解散されると何が行われるのですか?

矢田議員には多くの意見・要望・質問が寄せられています。その中から今回は『衆議院の解散』についてご紹介します。



衆議院は、矢田さんが所属する参議院と違って「議会の解散」があります。解散後はどのようなことが行われるのですか?

衆議院解散時の
議会風景
(写真は2014年12月)



衆議院が解散すると同時にすべての衆議院議員は失職します。一方、参議院は衆議院の解散に伴い自動的に閉会となりますので、もし審議中の法案がある場合は、すべて廃案となってしまいます。

しかしながら、衆議院解散後、国に緊急事態が発生するなど、有事の対応が必要な場合は、内閣は参議院の緊急集会開催を求めることができます。

そして、衆議院解散日から40日以内に衆議院議員選挙を行い、その後30日以内に特別国会を召集しなければなりません。

総選挙によって衆議院は再構成され、この特別国会において新たな内閣総理大臣が指名されることとなります。



矢田議員

◆ 選挙には必ず行きましょう ◆

今月は、衆議院議員総選挙が行われます。一人ひとりの1票が、国の未来を変えます。私たちの暮らしを良くするために、投票には必ず行きましょう。棄権することのないよう、急病や急用に備えて『期日前投票』に行くようにしましょう。



第4次産業革命と雇用問題



矢田議員が掲げている政策の3本柱「働く」「暮らす」「育てる」の中から、国会で審議されている等のホットな話題を選び、政策コラムとしてお届けします。

A I (人工頭脳)、ロボット、I o T^(※)などに代表されるように、コンピューター技術や生産技術が驚異的な発展を遂げる中で、それらが産業、社会、雇用に大きな影響を与えようとしています。いわゆる「第4次産業革命」と呼ばれているものですが、とりわけ労働・雇用面での影響に留意しなければなりません。

新しい技術は労働の効率化・軽減化を進め、人手不足を解消させ、労働時間を短縮させるというプラス面があります。しかし、これらの技術・機器が人に取って代わり、従業員の合理化へ繋がるという問題も出てきます。

一方、企業としても新しい技術に対応できる技術者・技能者を育成しないと競争力を失うこととなります。おそらく自己啓発や職場のOJT^(※)では追いつかない段階に入っており、国・企業・教育機関が第4次産業革命に対応できる人材育成と能力開発について抜本的に政策転換をはかる必要があるでしょう。

具体的には、新たな技術開発・商品開発を担うコンピテンシー人材（特定分野で成果を出し続ける行動特性を持った人材）をいかに確保・育成していくかということです。これは、我が国の公的教育システムそのものを見直す必要もあるでしょうし、初等教育の段階からプログラミング教育を導入していくことも考えなければなりません。

定型的業務に就く労働者や未熟練労働者を、先端産業を担う人材に育成するには、確かに膨大なエネルギーとコストがかかります。デンマークやスウェーデンなどの北欧諸国では、若年層の教育訓練について生活補償をしながら3年程度の期間を設けて技術を身につけさせ、そして確実に就職に結びつくようフォローをします。失業手当支給の負担や就業による税収増ということを考えれば、人材育成コストはさほど重くない、ということも国としても学ぶ必要もあると考えます。

(※) I o T: IT関連機器が接続されていたインターネットに、それ以外の様々なモノが接続されること
OJT: 現場で実際に仕事を進めながら、上司・先輩が必要な知識やスキルを教えて身につけさせること

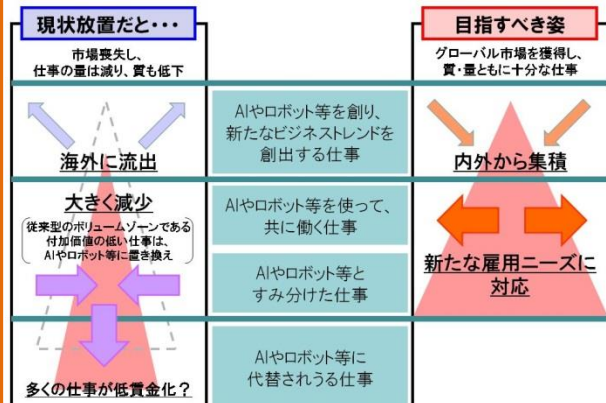


第4次産業革命によって、 私たちの働き方は変わってしまうの？

A I やロボット等の技術が進展していくことにより、これまでマンガの中だけの世界と思われていた社会が目の前まで近づいてきています。しかし、それに伴って私たちの働き方も劇的に変わる可能性が出てきたといえます。

A I やロボットと共に仕事をしていく方法を、私たちは真剣に考える必要があります。

【図】第4次産業革命による就業構造変変の姿(イメージ)



出所: 「新産業構造ビジョン」～第4次産業革命をリードする日本の戦略～(経済産業省)より、矢田わか子事務所作成

◆矢田議員からのメッセージ

臨時国会冒頭で衆議院が解散されました。安倍総理をめぐり政治的疑惑の迫り、北朝鮮のミサイル・核問題への対応、働き方改革など重要な課題の審議がすべて先送りになりました。国の行く末を決定づける選挙となりますが、政治を国民の手に取り戻すチャンスです。皆さんとともにしっかり対応していきたいと思っております。

矢田わか子